



▲「にほんの里100選」に選定された五和町二江地区の町並み

五和町二江地区が「にほんの里100選」に ～(財)森林文化協会などが全国100カ所の里を選定～

五和町二江地区が1月6日、「にほんの里100選」に選ばれました。これは、(財)森林文化協会などが、美しい里を未来に残そうと実施したもので、全国から応募された4,474件の中から100カ所を選定。二江地区は「沖合いにイルカが住みつき、1年中観察可能。男性の素潜り漁が盛んで、天日干しの製塩業もある」などと高く評価されました。二江まちづくり振興会の山下新吾会長は「今後も、二江の特色を生かして地域づくりに取り組みたい」と話していました。



▲小学校時代の恩師と記念撮影(河浦・一町田地区)

おめでとう！ 新成人

～市内各地で成人式開催～

1月3・4日、「成人式」が旧市町を単位とする9地区(牛深地区は昨年8月に実施)で開催され、合計829人の新成人が出席しました。本渡・有明・新和地区では、式典の企画や運営などに新成人が実行委員として参加。河浦地区の式典では、安田市長が「誇りと責任を持ち、明日の社会を築く原動力となつてほしい」とあいさつした後、新成人5人が意見発表。海村真由子さん(富津)は「消防署勤務2年目。さらに勉強を重ね、自己研鑽に努めたい」と発表しました。

日ごろの訓練の成果披露！

～消防出初式～

新春恒例の「消防出初式」が1月11日、本渡運動公園陸上競技場で行われ、消防団員ら約1,200人(うち女性消防団員18人)が参加しました。出初式では、整列隊形や規律などの通常点検や、地上20mのところに設置されたかごの中のボールを落とす放水競技などが実施され、消防団員らが日ごろの訓練の成果を披露しました。

なお、通常点検では牛深方面隊が、放水競技では御所浦方面隊がそれぞれ優勝しました。

絵本朗読や歌などを親子で楽しむ

～子ども読書フェスティバル～

1月10日、「子ども読書フェスティバル」が天草市民センター展示ホールで開催されました。当日は、有明地区の大楠小学校3年生16人が教科書に掲載されている作品の音読を、新合小学校読み聞かせボランティアグループ「ピノキオ」がパネルシアターなどを披露。また、絵本作家の中川ひろたか氏が、著作の絵本を感情豊かに朗読したり、ギターを手に自作の歌を披露したりするなど、参加した親子連れなど約350人は楽しいひとときを過ごしていました。



▲ギターを弾きながら自作の歌を披露する中川ひろたか氏



▲「もちはまだ焼けんどかねー」

無病息災、家内安全を願う

～福連木地区おねびしょ(鬼火焼)～

1/7
天草

1月7日、福連木地区の「おねびしょ」が福連木十五社宮付近の広場で行われ、地域住民らが今年1年の無病息災、家内安全を祈願しました。これは、福連木里づくり振興会が実施しているもので、今年で3回目。竹などで組まれた高さ約4mのやぐらが一気に燃え上がり、たくさんの炭火ができる。竹先に付けた「もち」を焼き、早速おいしそうに食べていました。また、振る舞いの「幸福ぜんざい」に舌鼓を打つなど、住民の皆さんは7日正月を楽しんでいました。



▲だご汁のサービスには長蛇の列ができるなど、多くの人出でにぎわっていました

多くの人出でにぎわう観光朝市

～しろう天草観光朝市・初市～

1/11
本渡

本渡観光朝市運営協議会(植田繁雄会長)が行う「しろう天草観光朝市」の初市が1月11日、南川プロムナード(南新町)で開かれました。当日は、地元産の新鮮な野菜や魚などが販売されたほか、だご汁やブリ・タイの刺身、ブリ大根などが振る舞われ、多くの人出でにぎわっていました。

この朝市は、毎週日曜日の朝(10～3月は午前6時30分から、4～9月は同6時から)、南川プロムナードで開かれています。皆さんも、ぜひお出かけください。



▲今年の運勢を占う輪投げ。「大吉に入ったかな？」

歩き初めで“健康づくり”と“運だめし”

～新春通詞島ウォーク～

1/11
五和

1月11日、二江まちづくり振興会主催の「新春通詞島ウォーク」が開催されました。この催しには、地区住民など約120人が参加。通詞島集落センターをスタート・ゴールとする約4kmのコースで、ウォーキングを楽しみました。

また、コース途中の弁天様の伝説が残る三天宮では、無病息災などを願って地域の皆さんが作った赤飯“御供”が振る舞われたほか、今年の運勢を占う「運だめし輪投げ」が実施され、一投ごとに歓声が上がっていました。

夢を持ち、その実現に向け努力を

～知事出前ゼミ～

1/14
本渡

1月14日、「知事出前ゼミ」が本渡南小学校で行われました。これは、蒲島郁夫・熊本県知事が子どもたちに夢を持つことの大切さを伝えようと実施しているもので、今回で7回目。天草では初開催。当日は、同校5・6年生約190人や保護者などが参加。蒲島知事は「夢を持っていたことで、米国の大学に行くことができたし、知事にもなった。皆さんには無限大の可能性がある。夢を持ち、その実現に向けて努力してほしい」と語りかけていました。



▲夢を持ち続けることの大切さについて語る蒲島知事